

クラス1弁の強度計算書の説明分類

TK-1-380 改4  
平成30年5月24日

設計・建設規格 各規格番号と強度計算書との対応			説明グループ	クラス1弁										
設計・建設規格 規格番号  (クラス1弁)	強度計算書の 計算式 (章節番号)	備考  ◎:評価部位有 代表して説明 ○:評価部位有 ●:説明済 -:評価部位なし	目録番号	V-3-5-3-1-4				V-3-5-4-1-3	V-3-5-4-2-3	V-3-5-5-1-2	V-3-5-3-1-4			
			系統名	残留熱除去系				高圧炉心 スプレイ系	低圧炉心 スプレイ系	原子炉隔離時 冷却系	残留熱除去系			
			弁名称	E12-F008	E12-F042A	E12-F042B	E12-F042C	E22-F004	E21-F005	E51-F064	E12-F053A	E12-F053B	E12-F050B	
			既設/新設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	既設	
			改造	無	無	無	無	無	有 (弁一式交換)	有 (弁一式交換)	有 (弁一式交換)	有 (弁一式交換)	有 (弁一式交換)	
			DBクラス	DB2→DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB1	DB2→DB1	DB2→DB1	DB1
			SAクラス	-	SA2	SA2	SA2	SA2	SA2	-	-	-	-	
			型式	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (仕切弁)	止め弁 (玉形弁)	止め弁 (玉形弁)	逆止め弁
弁の 応力 評価	VVB-3320	2.1.1 (A)	一次応力(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3330	2.1.2 (B)	配管反力による応力(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3340	2.1.3 (C)	一次+二次応力(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3350	2.1.4 (D)	一次局部応力(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3360	2.1.5 (E)	起動時及び停止時の繰返しピーク応力強さ(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3370	2.1.6 (F)	繰返しピーク応力強さ(弁箱)	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3380	2.2 (G)	弁体の一次応力	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3390	2.3	フランジの強度計算	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3390	2.3 (H)	弁箱と弁ふたのフランジの応力解析	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
の耐 設圧 計部	VVB-3210	2.4 (I)	弁箱又は弁ふたの最小厚さの計算	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3220	2.6 (J)	管台の最小厚さの計算	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
弁の 形状	VVB-3410	2.5	弁箱のネック部内径と弁入口流路内径の比	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3411(1)	2.5 (K)	弁箱のネック部と流路部が交わる部分の外表面の丸みの半径	●	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	
	VVB-3411(2)	2.5	弁箱の弁座挿入部のすみの丸みの半径	●	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
ヒアリングスケジュール				コメント回答	-	-	-	-	-	本日ご提出	5/17ご提出	-	5/17ご提出	